



ニュースリリース 平成 27年 1月 29日

<企画展>「小沼^{りえ}里回 タペストリー展」のご案内 —常陽史料館—

常陽銀行(頭取 寺門 一義)は、このたび、常陽史料館(館長 館野 孝男)において「小沼里回 タペストリー展」を開催しますので、下記のとおりお知らせいたします。

水戸市在住のテキスタイル*アート作家・小沼里回さんは、記憶を造形化した風景や抽象デザインをモチーフとしたテキスタイルを長年にわたり制作しています。

小沼さんは、知人が主宰した織物教室で織ることの楽しさ、「用」と「美」を兼ね備えた織物の素晴らしさを知りました。これまでにさまざまな織りの技法に触れるなかで、作品を平面的な「織物」として見せるだけでなく、立体的な「造形物」として表現することに興味を持つようになり、新たな「織り」の表現を模索しています。

今展では、主にシルクの糸を素材とする綴れ織りのタペストリー(壁掛け)を展示し、豊かな感性を表現した「織り」の素晴らしさを紹介いたします。

つきましては、多くの皆さまにご覧いただけますようご高配を賜りたくご案内申し上げます。

*テキスタイル…織物など素材である繊維を使用して表現したもの。繊維製品全般を指す。

記

企画展：「小沼里回 タペストリー展」

作者：小沼 里回 氏

会期：2月3日(火)～3月22日(日)

休館日：毎週月曜日

開館時間：10:00～17:45

会場：常陽史料館 アートスポット(入場無料)